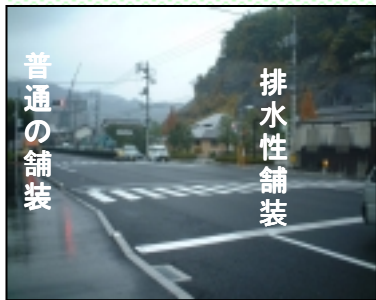




クラックがで、舗装が凸凹になっています。

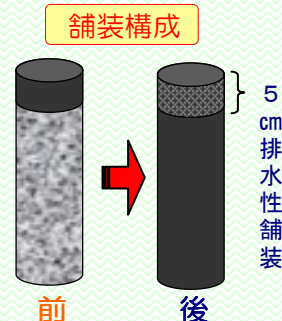


現在工事中の「国道185号阿賀北外舗装修繕工事」の阿賀北6丁目付近現場、約200mの舗装打ち替え工事が大詰めをむかえます。

表面のアスファルトは車両が通行するときに起こる摩擦により少しずつ削られ消耗し、クラック(地割れ)やわだちができてき、車両通行にも支障が発生しますし、そこを通行する事により振動や騒音の原因にもなります。また、5cmのアスファルト層の下には20~30cmのコンクリート層があり、そのコンクリートも振動により砕けており、コンクリート層からの撤去となりました。

この度の阿賀北舗装修繕工事に続いて、川尻町東1丁目付近の舗装打ち替え工事を行います。先月川尻町の現場が始まり、秋頃の舗装修繕工事完了を目指しています。

排水性舗装には雨天時の水はね防止や視認性の向上のほか、車両の通行騒音の低減などの効果がたかく、多くの道路で排水性舗装が進んできています。



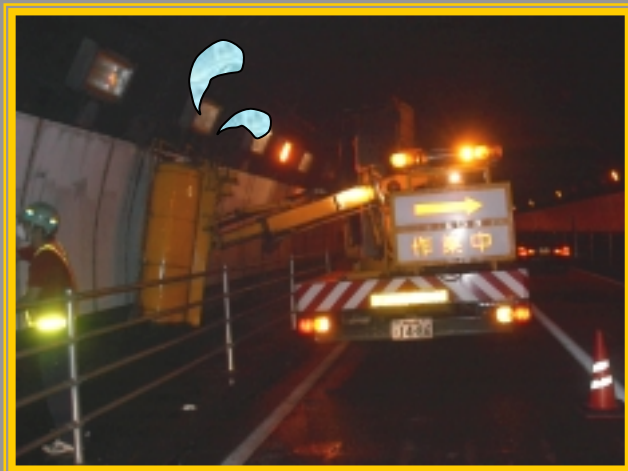
# 阿賀北舗装修繕工事 & 川尻舗装修繕工事

## トンネル内面フルブラッシュ!

### 維持工事

5月中旬、トンネル内の内装版清掃作業を行いました。この清掃作業には、トンネル清掃車として開発された特殊機械を使い、約10日間かけ、呉国道出張所管内3箇所ものトンネル夜間清掃をおこないました。  
(清掃作業車とはガソリンスタンドなどによくある洗車機のような大きなブラシの回転でトンネル内の壁面の内装版を水洗いし、すすなどを洗い流せます。)

清掃作業にはたくさんの水を使いますが、呉国では省エネに取り組み、湧き水などを使用し、水道水は一切使わずに済んでいます。また、夏季の緑地・植樹への灌水作業にもこの水を使用しています。



休山新道の開通しが昨年3月21日、あれから約1年と3ヶ月、距離や通行時間も大幅に短縮され今では多くの人たちが休山新道を通勤・通学に利用しています。

先日、「休山トンネル開通後の1年間の交通事故発生状況」が警察より発表されました。それによると呉・広両署管内において約半数近くの大規模な事故減少が確認されました。

### ～休山トンネル開通後の一年間の交通事故発生状況～

区分	事故種別	開通後	開通前	前年対比	
				増減数	増減率
呉署管内	人身	27	37	△10	△27.0
	物損	71	116	△45	△38.8
広署管内	人身	52	66	△14	△21.2
	物損	98	234	△136	△58.1
	計	248	453	△205	△45.3

《平成14年3月27日～平成15年3月26日》

